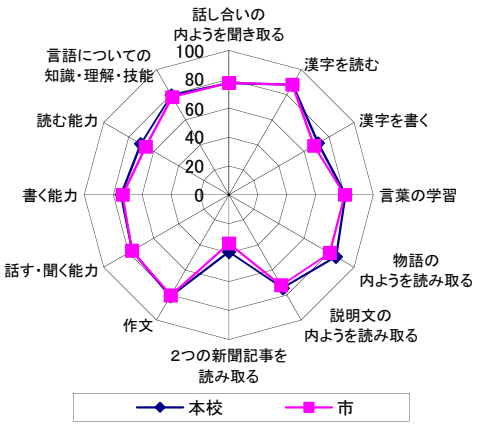
# 宇都宮市立御幸小学校 第５学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|---|---|---|---|
| | | 本校 | 市 |
| 問題の内容別 | 話し合いの内ようを聞き取る | 77.3 | 77.4 |
| | 漢字を読む | 88.1 | 87.9 |
| | 漢字を書く | 71.3 | 68.1 |
| | 言葉の学習 | 80.7 | 80.2 |
| | 物語の内ようを読み取る | 85.6 | 80.6 |
| | 説明文の内ようを読み取る | 74.4 | 72.3 |
| | 2つの新聞記事を読み取る | 39.5 | 33.5 |
| | 作文 | 81.0 | 80.3 |
| 観点別 | 話す・聞く能力 | 77.3 | 77.4 |
| | 書く能力 | 74.6 | 73.4 |
| | 読む能力 | 70.4 | 66.4 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 79.6 | 78.2 |




## ★指導の工夫と改善

| 問題の内容 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|---|---|---|
| 話し合いの内ようを聞き取る | ・平均正答率は市の平均を0．1ポイント下回っている。学習中に話し合う活動は取り入れているが，話し合いの中心となる児童に偏りがあるためか，司会者の工夫を考えながら，話の内容を聞き取る問題の正答率が低い。 | ・話を聞くことはできるが，何が大切か目的をもって聞いていないことが考えられる。学習中，グループにこだわらず，ペアや全体でも互いに感想を話したりわからないことを質問したりする機会をこれまで以上に設けるようにする。 |
| 漢字 | ・平均正答率は市の平均を上回った。日々の宿題の添削やぐんぐんタイム，そしてチャレンジテストなどの取り組みが知識の定着につながっているためか，読み書きとも平均を上回っている。書くことは市の平均を3ポイント上回った。 | ・日々の家庭学習やぐんぐんタイムの取り組み，また，チャレンジテストに向けた学習など，これまで行っている取り組みを継続していく。 |
| 言葉の学習 | ・平均正答率は市の平均を上回った。ことわざの使い方や句読点の打ち方の項目は正答率が高かった。作文が苦手である児童が多いことから接続語についての理解や文脈に沿った漢字の使い方の正答率が低かった。 | ・接続語によって後に続く文章に様々な意味があることを正しく理解できるよう，特に説明文の読み取りで接続語が示す意味やつながる文に注意するように促す。また，同音異義語をきちんと判断できるように，教科書に出てきたものをその都度復習していくようにする。 |
| 物語の内ようを読み取る | ・平均正答率は市の平均を5ポイント上回っている。正しく読み取るための研究を継続して行っていたこともあり，特に登場人物の心情を読み取る項目の正答率が高い。 | ・中心人物の気持ちや感情を正しく読み取る学習に継続して取り組んでいた成果が表れていると考えられる。今後もその力が高められるよう指導を継続していく。 |
| 説明文の内ようを読み取る | ・平均正答率は市の平均を2．1ポイント上回っている。しかし，理解したことを簡潔にまとめることを苦手とする児童が多いため，「文章の内容を的確に読み取り，まとめることができる」項目は市の正答率を下回った。 | ・文章の読み取りは得意だが，文章の要点を文中の言葉を使って短くまとめることは苦手だと考えられる。繰り返し出てくる言葉や題名と関係のある言葉など，重要な言葉を正しく判断し，簡潔にまとめる学習を行っていく。 |
| ２つの新聞記事を読み取る | ・市全体平均正答率が低い問題であるが，本校の平均正答率は市の平均を6ポイント上回った。しかし正答することができた児童は40ポイント程度である。平均よりは高いが決してできてはいない。新聞への関心が低く，家庭で目を通している児童が少ないことも考えられる。 | ・筆者がなにを伝えようとしているのか，写真や見出しも関連させて考えられるようにしていく。そのために同じ話題の記事で違う新聞社のものを比べるなど，筆者の意図を考えられるよう指導していく。 |
| 作文 | ・全体としては市の平均正答率を上回っている。ただ，2段落構成や指定された長さで文章を書くことは平均を上回っているが，普段から意識して話したり書いたりしている児童が少ないため，自分の意見と感想を区別して書くことは十分にできていない。 | ・国語に限らず学習の感想や学んだこと，自分の意見を書く機会を多く設けるようにする。また，作文のきまりの習得を徹底し，原稿用紙を使って正しく書けるように指導していく。 |